



平和祈念財団だより 第15号



写真提供：くう〔喜友名明日香〕様（かふうふおと／カメラマン）

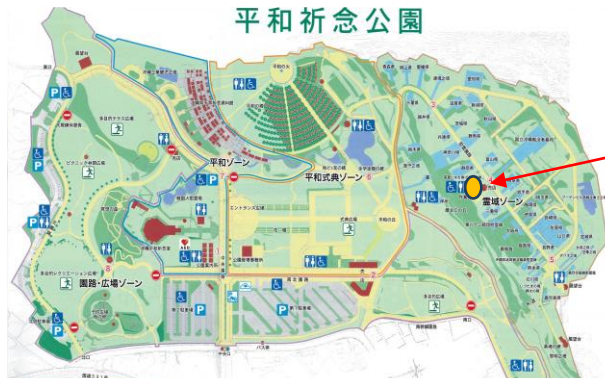
「東北復興支援・ヒマワリ畑」が開園！

3月11日（火）、14年前の東日本大震災の発生日に合わせて、今年で10回目の節目となる「ヒマワリ畑」を開園しました。

オープニング・セレモニーでは、当財団の金城会長やヒマワリの種の提供者である、福島・沖縄絆プロジェクト副理事長の鈴木氏の挨拶がありました。また、糸満市内の「浜川こども園」「しおひら保育園」「大地の子ども園」より約80名に参加して頂きました。かわいらしい演技があり、セレモニーに花を添えてくださいました。



新しい「仮安置室」が建設されました



糸満市摩文仁・平和祈念公園の霊域ゾーン内に「沖縄遺骨整理・仮安置室」が建設されました。ここで言う「仮安置室」とは、沖縄戦で亡くなられた方々のご遺骨が発見・収容された後、焼骨されるまでの間、ご遺骨を一時保管する専用の施設です。

4月2日に、沖縄県遺族連合会の役員もお招きして、安全祈願の法要を行います。

(1)建設の経緯

従来、戦没者のご遺骨は収容された後、一定期間(概ね1年程度。身元の判明したご遺骨は除く。)を経て、焼骨された後、「国立沖縄戦没者墓苑」に納骨されてきました。しかし、沖縄県では、市民グループからの要請や沖縄県議会による「沖縄戦没者遺骨に関する決議」などを受け、平成25年度より戦没者遺骨の焼骨を見合わせています。

毎年、沖縄県では、戦没者と推定されるご遺骨が発見・収容されています。年1回の「焼骨・納骨」を前提とした既存の「仮安置室」は、遅かれ早かれ狭隘な状態になります。「仮安置室」を管理している当財団の戦没者遺骨収集情報センターは、沖縄県に対して、「戦没者遺骨を仮安置するためのスペースが足りない」旨の報告を、これまで行ってきました。

沖縄県は、厚生労働省に対して、平成27年度と29年度に、仮安置室の新たな設置について要請を行い、厚労省も、令和3年度と4年度、仮安置室建設に関する予算措置をしていました。しかし、折からの物価高騰の影響を受け、入札が成立しませんでした。そこで、厚労省は、設計・積算を見直した上で再度の入札を行い、令和6年度に建設される運びとなりました。

(2)今後の課題

現在の状況では、新たな「仮安置室」も、数年後には再び狭隘な状態になるであろうことが想定されます。今年は「沖縄戦」から80年という節目の年です。「遺族にご遺骨を返す」というDNA鑑定の趣旨と、それに伴う費用対効果について再点検するなど、改めて沖縄県全体として、戦没者遺骨への対応を再考する時期に来ているのではないのでしょうか。



財団事務所への「珍客」(オキナワシジュウカラ)

3月14日(金)午後2時頃の出来事です。「珍客」は、事務所玄関で、しばらく動かず、じっとしていました。弱っているのか、心配でしたが元気に飛んでいきました。

今の季節だと「小さな子」だったのでしょうか。



この「オキナワシジュウカラ」は、留鳥(一年中一定の地域内に定住する鳥)として、沖縄諸島の市街地の緑地や、山地の森林など、広く生息しています。

やんばるの森では、もっとも普通に見られる野鳥です。

理事会の開催について

3月18日（火）に、令和6年度第5回理事会を開催いたしました。理事8名、監事2名の全員に出席していただきました。

- 第1号議案 2024（令和6）年度補正予算（案）について
- 第2号議案 公益財団法人沖縄県平和祈念財団職員の給与及び旅費に関する規定の一部改正（案）について
- 第3号議案 2025（令和7）年度事業計画（案）について
- 第4号議案 2025（令和7）年度収支予算（案）について
- 第5号議案 2025（令和7）年度「役員賠償責任保険」契約締結について

以上が審議され、全会一致で承認されました。その他、公園清掃管理や人員配置などについて活発な議論が行われました。

◆令和7年度の予算について、沖縄県への陳情を行いました。また、粘り強く交渉した結果、良い結果が得られました。（会長）

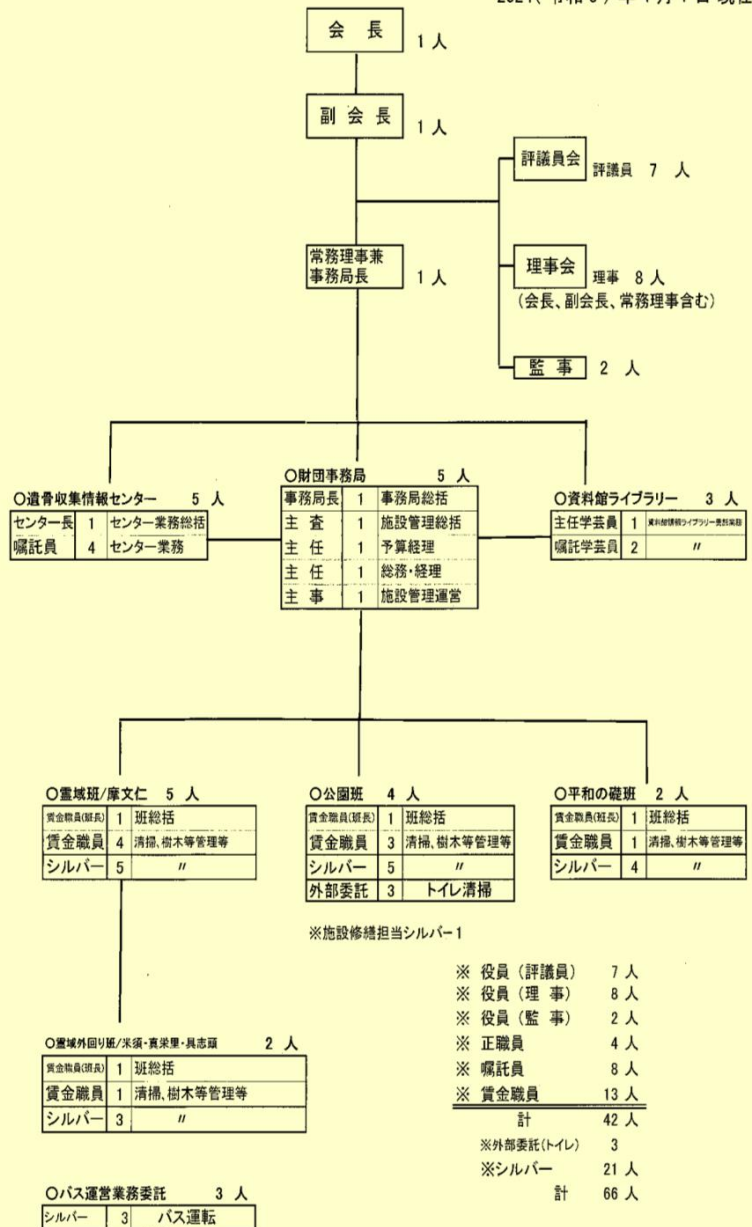
◆「沖縄遺骨整理・仮安置室」が完成します。4月2日に安全祈願が行われます。（会長）

◆公園の整備について、外部から高い評価を受けていますが、その作業体制はどのようになっているのでしょうか、とのご質問。（金城理事）



沖縄県平和祈念財団 組織図 管理執行体制

2024(令和6)年4月1日現在



『平和祈念財団だより』のお届け方法を変更します



いつも当財団の広報誌『平和祈念財団だより』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、今回で15回目（第15号）の発行となります。

これまで、紙ベースでお届けしてきた『財団だより』ですが、折からの物価高騰による影響を受け、印刷代や郵便料金を節約すべく、今後はインターネットで配信する事にいたしました。左上のQRコードを読み取ると、沖縄県平和祈念公園のホームページが開きますので、そちらでお読み下されば幸いです。何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。（従来通りペーパーをご希望される方は、下記の連絡先までお知らせください。）

読売巨人軍の選手が平和祈念公園を訪問！

2月14日（金）、入団3年目の浅野 翔吾（あさのしょうご）外野手と、ドラフト3位で新人の荒巻 悠（あらかまき ゆう）内野手が、平和祈念公園を訪れました。

当日は、沖縄県平和祈念財団の仲田主査による案内で、最初に国立沖縄戦没者墓苑で献花を、続いて平和の礎へ移動し、沖縄戦や平和祈念公園の説明を行いました。

訪問後の感想では、「当たり前で野球ができていることは幸せなことだと感じました」と話されるなど、お二人とも平和の尊さを改めて認識されている様子でした。



財団カレンダー（4月～6月までの主な行事予定）

4月1日	令和7年度事業開始、辞令交付式
4月2日	「沖縄遺骨整理・仮安置室」安全祈願の法要
5月2～6日	平和祈念こいのぼりまつり
5月15日	〔沖縄本土復帰記念日〕
5月下旬～6月上旬	財団理事会、評議員会
6月22～23日	平和の光の柱（サーチライト）、平和の火（終日点灯）
6月23日	〔沖縄慰霊の日〕沖縄全戦没者追悼式

平和祈念財団だより（No15）2025（令和7）年3月24日 [年4回発行]

【発行】代表理事 金城克也

【編集】公益財団法人沖縄県平和祈念財団

編集担当:松川満、岩下喜博、松堂利枝子

〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 444 番地

☎ : 098-997-2765 / fax : 098-997-2767 / Email : heiwakinezaidan@heiwa-irei-okinawa.jp

